

研究名「石川県における病理学的検査の精度管理の調査」

【研究内容】

病理診断は疾患の診断そのものであり、その診断は疾病の治療や予防に活用される。正確な病理診断のためには病理検査の質の信頼性が保証されていなければならない。石川県内の病理検査の質と検査技術の向上をはかるため、石川県内の多施設が共同で、精度管理を行うことは有益であると思われる。病理学的検査の精度管理として、薄切した未染色ガラス標本を用いてヘマトキシリン・エオジン染色と特殊染色の病理組織標本作製技術の力量を問う調査を行う。

【対象】

金沢大学附属病院で胃癌と診断され、2015年6月に手術により摘出療法がおこなわれた方を対象とします。

【研究の方法】

4 μ m厚に連続薄切した未染色ガラス標本を、石川県内の精度管理調査に参加施設に配布し、ヘマトキシリン・エオジン染色、特殊染色、免疫染色を施行してもらい、染色された標本を金沢大学附属病院病理診断科・病理部に送付してもらい、染色性およびコントラスト、共染、染色むらなどを総合的に解析し、評価する。

【外部への試料・情報の提供】

共同研究機関へは匿名化した未染色標本を郵送にて配布し、同時に施行するアンケート調査は電子的配信により行う。各施設で染色し、回収された染色標本は金沢大学附属病院病理部内にて研究責任者が保管・管理する。

【予想される利益と不利益について】

患者さんご本人にはこの研究に伴う利益はありません。また過去に採取された病理組織検体を検討するため、不利益もありません。

【プライバシーの保護について】

この研究では、匿名化され、多施設に配布される未染色ガラス標本には、ガラス上にパラフィン切片が1枚載っている以外、何も情報はありません。

また、この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがありますが、あなたの個人情報などが公表されることは一切ありません。

【研究への不参加の自由について】

試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、2018年6月30日までに下記の問い合わせ先までお申出ください。

【研究に関する窓口】

研究機関の名称：金沢大学附属病院 病理診断科・病理部

研究責任者：池田 博子（金沢大学附属病院病理診断科病理部）

問合せ窓口：玉野 裕子（金沢大学附属病院病理診断科病理部）

住所：金沢市宝町13-1

電話：076-265-2027